

令和元年度 第3回 学校運営協議会報告

【日 時】 令和2年2月18日(火) 13時30分～15時30分

【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅 (元府立学校准校長)
大原 武史 (寝屋川市立第一中学校校長)
巽 順子 (地域住民)
松下 孝雄 (北水会)
水野 洋子 (卒業生保護者、地域住民)
高崎 美和 (PTA 定時制委員会副委員長)

准 校 長：浅川 又一
事 務 局：伊藤 牧子 (教頭) 住友 敏弘 (事務部長) 沼田 慎也 (首席)
山中 健 (教務主任) 庄司 樹生 (生徒指導主事)
和氣 裕佑 (4年学年主任、進路指導部)
西本 裕幸 (人権教育推進委員長、道徳教育推進教師、3年学年主任)

1 開会

2 会長挨拶

3 准校長挨拶

4 協議

① 令和元年度学校教育自己診断と検討結果について (別紙)

- ・分掌チャレンジの総括
- ・各学年の様子

提言・意見

- 生徒・保護者の肯定的な回答が多くなっている通り、学校が前向きに進んでいると思われる。
- 生徒支援が重要になってきていて、困っている生徒へのサポートであったり、コミュニケーション能力を向上させる取り組みが学校に求められている。

② 第2回授業アンケート結果について (別紙)

- ・全体的に前回7月のアンケートから飛躍的に向上している。

提言・意見

- 生徒の授業に対する評価が上がっているのは、授業見学して理解できた。それぞれの生徒に視線を合わせて、誰が受けても分かりやすい授業を展開している。
- 教員の生徒に対する思いが強い学校だと思うので、継続してほしい。

③ 令和元年度学校経営計画及び自己評価（案）と令和2年度学校経営計画及び自己評価（案）について（別紙）

- ・教員の人材の育成に力を入れてきたし、今後も継続したい。
- ・生徒に対しても人間力をつけてあげられる学校をめざす。
- ・通信制高校との差別化を図って、本校だからできることを作っていく。

提言・意見

- 授業アンケートの結果が向上していることに満足せず、さらに分かりやすい授業をめざしてほしい。
- 差別化という点でいうと、困っている生徒への支援体制がポイントとなると思われる。

④ 各種委員会からの説明についての提言

1. 人権・道徳教育推進委員会（別紙）
2. 教育相談委員会（別紙）
3. 中途退学防止（別紙）

提言・意見

- 人の命と権利が大切だということを教えてあげて欲しい。
- 入学した生徒を退学させることなく進級、卒業させてあげてほしい。